

# たんぽぽ だより

2003年7・8月 No.8

日本共産党 川西市議会議員 **黒田みち**

市政にたいする要望・ご意見をお寄せください。 日本共産党川西市議団控室 8740-1111 (内線4020) FAX 759-1811

みんなが  
**住んでよかつた**  
と思える川西市に……  
くらし・福祉・  
教育最優先の市政めざして

## 核兵器廃絶 戦争反対を訴えて 国民平和大行進

もうすぐ梅雨明け。今年は本当に梅雨らしい天候になりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

夏といえば「平和」。今年も2003年原水爆禁止世界大会の成功をめざし、東京

「核兵器廃絶」を訴えて川西市役所前をスタートした平和行進



から広島まで歩く国民平和大行進が7月7日のお昼に川西市役所前で大阪からバトンタッチされました。

黒田も約200人の方々と「核兵器廃絶！戦争反対」を訴えて宝塚までの約10kmを行進しました。

### 平和行進ポスターに 伊丹で不当弾圧

7月3日お昼に、伊丹市でこの国民平和大行進を知らせるポスターを貼ったとして女性1名が伊丹警察署に連行される事件が起きました。

「平和運動を弾圧するな！」とただちに抗議をし4日午後6時に釈放させましたが、当局は神戸地方検察庁に送検。言論・表現の自由と人権をまもるため、不当弾圧に反対し完全不起訴をかちとるために奮闘しなければなりません。

### 安心の子育てのために市として調査と援助を

公立・認可・無認可で1056名のこども達が保育所に通っていますが、待機児童はなくなっています。地域にあづけるところがないとあきらめているお宅もあります。少子化対策も含めて市としてキメ細かな子育て支援が必要で、そのための保育所の実態を調査し指導・援助すべきだと要求。

## 介護保険料と利用料の減免

### 居宅サービスの住宅リフォーム制度の拡充

### 安心の子育てをする為の保育所・児童育成クラブ施策など

6月議会で質問・要求

しました

一日一食の配食サービスを分けて食べている、徘徊すると困るので部屋に閉じ込められている、等々、高齢者への虐待の実態が新聞で報道されました。厚生労働省も調査に入るといいます。

介護保険がスタートして3年。「人格が尊重されサービスの選択ができる」と大宣伝されましたが、非課税の方からも保険料が徴収され(月15,000円の年金からでも天引き)一割を払わないと介護サービスが受けられないという制度は、川西市でも介護度5の方でさえ限度額の平均54%しかサービスを受けていない事態を生んでいます。これは家族への大きな負担になっています。まして、特別養護老人ホームへの入所待ちの方が増えています。

医療費負担は大きくなって、保険料等は値上げ。命を守るという当たり前の事さえおびやかされています。利用料の独自減免実施は825自治体、保険料減免実施は431自治体のぼっています。(川西市は、わずかな保険料減免があります。利用料減免はありません。)

国の責任としての措置制度から介護保険制度に変えられ、国の負担を最大80%だったものを、わずか25%にした結果です。「住んでいる人の命と暮らしを守ること」が自治体の第一の仕事。

お金がなければ介護が受けられず命さえうばわれかねないような状況がないのか、市民の実態をすぐに調査し、保険料・利用料の減免をすべきお年寄りの方に安心の老後を保障すべきだと訴えました。

## 開発優先、無駄づかい失政の典型

### 中央北地区開発問題

### 日本共産党が主張 開発急がず、いったん凍結を

川西市は、財政が厳しいから医療扶助、生活保護一時金支給、高齢者交通費助成、こどもやお年寄りへの各種福祉金等を見直して、「5年間で40億円を節減する」(市の「行革行動計画」)と言います。

でも、中央北地区開発の土地先行取得に借金で142億円を投資しましたが、すでに地価は35%下落で約50億円の損。これまでの利息に加えて元本の返済も始まっています。その上、厳しい財政なのに市はまだ「開発」を押し進めるつもりです。

その財源は？といえば借金を重ねるか市民に負担を押しつけるしかありません。

日本共産党議員団は、無責任な開発優先をいったん凍結し、十分な時間とって市民の知恵を借り、百年の計を図るべきだと主張しています。

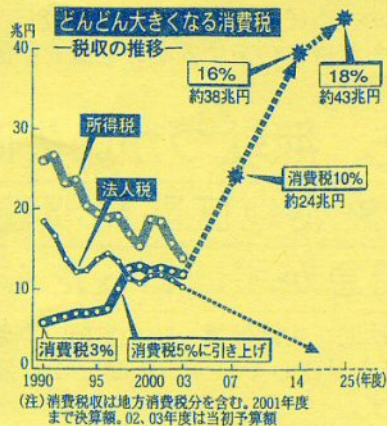


# 消費税増税に大反論

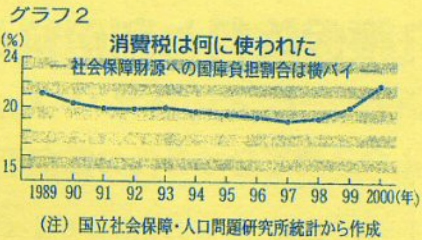
政府税調の「中期答申」は、消費税は「社会保障をはじめとする公的サービスを支えるために重要な役割を担う」としている。しかし、一九八九年四月の消費税導入後、医療、介護、年金などの

分野でも国民にとっては改悪・負担増の連続です。「福祉のため」は実態にも実感にもあいません。社会保障財源への国庫負担割合は統計上も増えていません。(タニフニ)

医療費の値上げに年金の引き下げ。保険料の値上げに給料は下がる一方。消費税が二桁だって！！



イギリスやイタリアでは生活必需品や文化に消費税はかかりません。「日本の消費税負担がすでに欧米より重くなっています」と浦野教授。



## 「福祉のため」ではない



高齢者のためにと消費税3%に、  
少子化もと5%に引き上げ・・・  
いったい何に使っているの？



## 低所得者ますます重く

みやぎ生協の家計簿調査では、昨年一年間の一世帯あたりの消費税額は、十六万八千五百八円です。住民税や所得税を上回っています。「もしこれが15%なら五十万円にもなります。しかも所得税と違って消費税には何の控除もない」

宮城県生活協同組合連合会事務局長の河野雪子さんは、想像もつかないといった口ぶりです。

消費税は所得の低い人ほど重い、不公平な税金です。年収二百万円未満の家計の消費税負担率(4.09%)は、千五百万円以上の世帯(1.26%)の三倍以上です。(タニフニ)

欧州と比較しても、日本の負担の重さがよくわかります。立正大学の浦野広明教授は「税率だけを比べれば、日本5%にたいして、たとえばイギリス17.5%、イタリア20%と、欧州の方が高いです。しかし国税に占める消費税の割合は、日本が22.7%(二〇〇三年度予算)で、欧米でも高い方に位置するイギリス、イタリア(いずれも22.3%、二〇〇二年)を上回っているのです」と指摘します。

## 潮流

北海道の別海町にすむ浦野三郎さんは、ずっと気になっていました。近くの矢野別演習場で自衛隊が使う榴弾砲一発の値段は、いまどれくらいだろうか？▼▲の浦野さん発行の手づくり通信「とりのこ」に、「朝報と聞いていのかどうか...」と断りつつ書いています。最近、「確かな筋から一部の値段を教えてください」と。15.5億榴弾砲は一発、なんと二十万から三十万円といわれます▼浦野さんは十三年前、演習場の幹部から「一発約五万円」と聞いていました。デフレもなんのその、当時の約四倍です。「ドカーンと鳴り響く度に新任サラリーマンの1カ月の給料が消えることになるのかなア」と浦野三郎さん▼2003年だと四十万から六十万円！「とりのこ」に、自衛隊の訓練通知(四一六月分)が載っています。三カ月間に155万を六千三百三十発、2003年を二千六百発「ドカーン」の

真実を伝える新聞  
「赤旗」  
お申し込み  
生活相談  
黒田みちまで  
790-3055

## 命を考える

折出健二・愛知教育大学教授(教育学)の話 十二歳という年齢の低くはないが、率直にいつて、九七年の神戸市須磨区の少年事件で日本社会に問いかげられたのと同じ問題が、今回の事件の底流に流れていると感じている。

中学生という思春期のまっただなかでは、心の中にとつともない大きな葛藤が生まれる。本来は信頼できる友だちとの付き合いの中で、少しずつ乗り越えていくものだ。ところがこの少年の場合、その抱えきれない苦しみや身近な人にかまきってもらえず、他者不信が募っていた。それが飽和状態を超えてしまい、自分より弱い者への暴力に向かったと思われる。

少年は、防犯カメラに映ったり、駐車場の屋上へ靴あとを残したりしていることから考えても、計画性はなく衝動的なものだったと考える。

神戸の事件以来の社会的背景の根本にあるのは、九〇年代以降、他に類のない「自己責任」が求め

## なぜ弱いものへ向かった

みなさん、いろいろ考え合しましょう

7月19日(土) 7:30より

北陵公民館

日本共産党市政報告会と懇談会を行います。お気軽にご参加ください！

市会議員 黒田みち  
兵庫6区国政対策委員長大塚としおが お話します。

られ人間が個々バラバラにされ、徹底した競争社会になっていることがあげられる。こうした社会のありようを一番敏感に感じるのが思春期のこの年代だ。